

# 平成21年度 理事会・評議員会開催



4・5月号

発行所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 財団法人 茨城県消防協会 編集発行人 消防協会長 大塚 光 印刷所 富士オフセット印刷株式会社 (1部 15円)

## 平成21年度 茨城県消防協会理事会・評議員会



議長を務める葉梨常任顧問

今年度は、議事終了後、鈴木事務局長から、①新公益法人制度、②住宅用火災警報器の設置推進に関する消防団指導員研修の二つについて説明がありました。

平成二十一年度(財)茨城県消防協会理事会・評議員会(いわゆる「総会」)が、五月十五日(金)に茨城県市町村会館において開催されました。

代表してご挨拶を頂きました。ご臨席頂いた来賓は次の方々です。

- ・県危機管理監 岡田 克幸 様
- ・県参事兼危機管理室長 山田 広次 様
- ・県消防防災課長 遠藤 延男 様
- ・県立消防学校長 岩島 孝夫 様
- ・県消防防災課長補佐 飛田 剛利 様

野清石工門様/那珂市消防団長 海野藤男様)を選出した後、次の議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・議決されました。

- 報告第一号 平成二十年度 普通会計収支補正予算
- 報告第二号 平成二十年度 事業報告
- 認定第一号 平成二十年度 普通会計収支決算認定
- 議案第一号 平成二十一年度 事業計画(案)
- 議案第二号 平成二十一年度 普通会計収支予算案
- 議案第三号 役員等の選任に関する基準の改正
- 議案第四号 役員補充

## 平成21年度財団法人茨城県消防協会事業計画

事業名	計画の概要
1 啓発普及事業 (1)機関紙「茨城消防」の発行 (2)火災予防運動 (3)「日本消防」の配布 (4)新聞紙上及びラジオによる防火・防災思想の普及	・「茨城消防」を隔月6,400部発行し、消防団・消防本部・その他消防関係者に配布する。 ・消防庁並びに(財)日本消防協会が行う秋季及び春季火災予防運動に呼応して、火災予防運動を展開し、火災予防思想の普及高揚を図る。 ・防火ポスターの配布 ・「日本消防」を各市町村・各消防本部に毎月配布する。 ・新聞掲載及びラジオ放送による火災予防や防災の広報を行い、県民の防火防災思想の普及高揚を図る。
2 消防団活性化事業 (1)支部(地区)別団長等懇談会 (2)地域交流活動促進助成 (3)女性消防団結成促進助成	・県内6支部において、消防団長・消防主管課長による懇談会を開催し、消防団活性化対策等についての意見交換を行う。 ・地域ぐるみの防災体制を促進するため、消防団員相互及び消防団と地域住民・企業等との交流活動等を行う消防団に経費の一部を助成する。 ・消防団員減少対策として、機能別消防団の結成促進と合わせ、男女共同参画型社会の形成を推進し、女性の持つ特性を生かしながら消防活動を実施する女性消防団を、平成19年度から概ね3年程度で県内全市町村に結成されるよう促進を図る。その際、結成する消防団に対し、活動服の製作等に要する経費の一部を助成する。
3 教育指導事業 (1)消防ポンプ操法大会審査員研修会 (2)消防団長研修会 (3)理事研修会 (4)支部消防団員教育訓練助成 (5)支部活動助成 (6)消防団員指導員研修会 (7)女性消防団結成促進大会 (8)海外消防事情視察研修助成 (9)消防長会助成 (10)消防団長等助成 (11)婦人防火クラブ助成 (12)婦人防火クラブ指導者研修会助成 (13)茨城県幼少婦人防火委員会助成 (14)日本消防協会消防団幹部研修・幹部候補中央特別研修 (15)住宅用火災警報器設置推進事業消防団指導員研修会	・消防ポンプ操法大会審査員養成のための研修会を開催し、審査技術の向上を図る。 ・消防団長を対象に、県と共催により研修会を開催し、消防団を巡る諸問題を、研究協議する。 ・消防協会理事・監事を対象に、県外の消防事情視察研修を行う。 ・消防協会支部の行う教育訓練事業(操法・規律等)に要する経費の一部を助成する。 ・県内6支部の活動に要する経費の一部を助成する。 ・(財)日本消防協会の補助により、県立消防学校において消防団員指導員養成課程を実施する。 ・女性消防団の結成を促進するため促進大会を実施する。 ・(財)日本消防協会等主催の海外消防事情視察研修参加者に対し、その経費の一部を助成する。 ・消防長会を支援するため、研究会活動に要する経費の一部を助成する。 ・元消防団長等で構成する消防団長の活動を支援するため、経費の一部を助成する。 ・婦人防火クラブを育成・支援するため、県婦人防火クラブ連絡協議会に経費の一部を助成する。 ・自主防災防災に対する理解を深めてもらうとともに、自主防災組織の整備を図るため、婦人防火クラブの指導者を対象に防火防災の研修会を実施する。 ・茨城県幼少婦人防火クラブを育成・支援するため、茨城県幼少婦人防火委員会に経費の一部を助成する。 ・(財)日本消防協会主催により実施される、消防団幹部特別研修及び国民保護法研修に県内消防団幹部を、また消防団幹部候補中央特別研修に県内の比較的若い男女消防団員を派遣する。 ・住宅用火災警報器の設置を推進するため、指導的立場となる消防団員を育成し、住宅用火災警報器の設置推進活動を助長して、安全な地域社会の実現に資する。(各支部単位に研修会を実施)

事業名	計画の概要
4 大会開催事業 (1)消防大会 (2)消防ポンプ操法大会 (3)幼年・少年・婦人防火大会 (4)消防救助技術大会 (5)全国女性消防操法大会への出場 (6)出初式	・県と共催により消防防災思想の高揚と消防関係者の大同団結を図るため開催する。 ・消防職・団員・妻女等の定例表彰を行う。 ・消防団員の消防ポンプ操法技術の向上を図るため、県と共催で県内6地区で開催する。 なお、平成22年度はポンプ車の部において全国大会が実施されることから、この出場チームを決定するため、各地区のポンプ車の部の優勝チームで、全国大会に出場を希望する消防団による選考会を実施する。 ・県幼少婦人防火委員会、県婦人防火クラブ連絡協議会と共催により県内の民間防火組織の交流を深め、火災予防思想の高揚を図るため開催する。 ・消防職員の救助技術の向上を図るため、消防長会に運営を委託して開催する。 ・(財)日本消防協会が主催する「第19回全国女性消防操法大会」が横浜消防訓練センターで開催されることから、本県代表として常陸大宮市の女性消防団が出場する。 ・県内の消防出初式等に出席する。
5 福祉厚生事業 (1)日本消防協会定例表彰 (2)退職消防団員報償 (3)死亡消防職・団員表彰 (4)消防関係者叙勲・褒章等受章祝賀会 (5)消防殉職者慰霊祭 (6)弔慰見舞 (7)茨城県消防関係役員名簿の作成 (8)福祉共催制度等への加入促進	・日本消防協会定例表彰の候補団体・個人を推薦する。 ・在職期間5年~15年の退職消防団員に感謝状及び記念品を贈呈する。 ・在職期間5年未満の消防団員及び現職消防団員に感謝状を贈呈する。 ・春、秋消防関係者叙勲・褒章等の受章者を招待し、祝賀会を開催する。 ・殉職消防職・団員の遺族を招いて慰霊祭を執行する。 ・傷病、死亡等の団員に弔慰見舞金を贈呈する。 ・消防団・消防本部幹部の退団や異動に伴い、茨城県消防関係役員名簿に変更が生じているため、これを新たに作成し消防関係機関に配布する。 ・(財)日本消防協会が行う福祉共催制度等への消防職団員の加入促進を図る。
6 海外支援事業 海外消防機関への災害時の義援及び消防資機材の寄贈等	・海外の災害に対する義援及び消防資機材等の不足により、消防活動に支障をきたす国に対し、国際交流として、使用した消防自動車等を寄贈する。



入校式に望む初任科生

## 県立消防学校 初任科入校式

消防職員初任教育も第八十八期となり、四月八日(水)午前10時から県立消防学校において、県内二十二消防本部から総勢二百二十名の学生を迎え、入校式が挙行されました。式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞(岩島消防長)、知事告辞(遠藤県消防長)が行われ、続いて、消防職員として必要知識・技能を習得し、半年後には、新時代にふさわしい消防の担い手として巣立っていかねばならないことを祈念しました。

### トーハツ 小型ポンプ

充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客さまのご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式

茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**  
水戸市東原3-6-24  
TEL.029(224)3324(代)  
FAX.029(224)3360

### Panasonic

自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店  
**株式会社入江電機工業所**

本社 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614(代表)  
FAX.029-224-4613  
千波営業所 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL.029-241-3636(代表)  
FAX.029-244-0540  
土浦営業所 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498(代表)  
FAX.029-822-6575

10mから50mモリタの梯子車  
モリタの技術と設備は20種類以上の消防防災、総ての車を造ります。

完全水冷ラジエータ式、強制空冷式シパウラ小型消防ポンプ  
SFシリーズ、TFシリーズ独特の2本立で総ての機能を具えております。

消防・防災用品全般、火の見櫓撤去・移設、ホスポール建立

茨城県代理店  
**(有) 鈴 機**  
石岡市国府5-2-25  
TEL.0299(22)3010 FAX.0299(22)5846

# 日本消防協会主催の 消防団幹部候補中央特別研修

日本消防協会主催による第八回消防団幹部候補中央特別研修が、次の日程で実施されました。

○男性団員の部  
平成二十一年二月十五日  
十七日(二泊三日)  
(参加者)  
龍ヶ崎市消防団  
指導員 矢口 一彦  
指導員 渡辺 孝  
指導員 山本 誠幸  
○女性団員の部  
平成二十一年二月十八日  
二十日(二泊三日)  
(参加者)  
常陸大宮市消防団  
団員 細貝 恵子  
団員 三次 雅子



研修に参加した龍ヶ崎市消防団 (左から渡辺さん、山本さん、矢口さん)

全国的に消防団員減少の傾向がみられる今日において、災害時における防火・防災活動が手薄になり、災害規模の拡大も増して、危機的な活動状況になりつつある中で、団員による積極的なイベントへの参加や広報誌による消防団のアピール、募集活動にさらに力を注がなければならぬといわれています。

地域に根付いた消防団活動として、地域住民との防火・防災指導の場をさらに設けることにより、住民との連携を密にし、防火訓練への参加呼びかけや防災意識を高めていく活動が再認識されなければならぬのではないかと、と思われました。

また、消防団員としての救急・救命に関する学習を深め、防火・防災活動の知識や技術の向上をめざし、住民からの信頼を得る消防団員の育成も重要視されているでしょう。

団員各々の地域の実情にあった、より効果的な訓練・研修を重ね、地域性、特性を活かした消防団活動が期待されているのではないのでしょうか。

研修におおいて、一つの答えは出ませんが、これら個々の課題を参加団員各々が地元で持帰り、更なる検討がされることを望みながら討議・研修が修了致しました。今回の研修を経験した団員各々が、同じ課題を抱えて全国に再び散っていった。今後も深く長く検討を重ねられ、新たな一歩が踏み出されることを強く期待致します。同じ愛護精神・志を持った消防団員が全国各地におられることが一番心強くて、とても素晴らしい経験・研修でした。

## 「消防団幹部候補中央特別研修」に参加して

龍ヶ崎市消防団  
矢口 一彦

全国各地から総勢百四十名の消防団員が日本消防協会館に集まり、三日間の限られた時間内で、各団の課題テーマについて討議を致しました。私たち三十五名による第三班には「新たな消防団活動の展開について」という課題テーマが与えられ、現在の活動状況を把握しながら今後の展開について意見交換を行いました。また、テーマそのものがとても広範囲で意味深く、要点がつかみにくく、活動の拡大に伴う団員の負担が重く感じられるのではないかと心配もありましたが、さすがに



研修に参加した常陸大宮市消防団 (左から三次さん、細貝さん)

は出ませんが、これら個々の課題を参加団員各々が地元で持帰り、更なる検討がされることを望みながら討議・研修が修了致しました。今回の研修を経験した団員各々が、同じ課題を抱えて全国に再び散っていった。今後も深く長く検討を重ねられ、新たな一歩が踏み出されることを強く期待致します。同じ愛護精神・志を持った消防団員が全国各地におられることが一番心強くて、とても素晴らしい経験・研修でした。

去る二月十八日から三泊三日の日程で、東京の日本消防協会にて行われた「第八回消防団幹部候補中央特別研修」に参加して感じた事の一部、団員が足りない声が多かった。意見交換会の片山会長の挨拶の中で「言葉にも「団員の勧誘」、意見交換会の中でも、研修の中のグループ別課題討議の中でも「人が足りない、団員が足りない」という言葉は各団の団員から数多く出てきました。「女性消防団の存在がまだまだ影の薄い組織なのでは」という声に、今以上に力を入れたPRが必要であるという意見に対し、各地区から同じ意見として、地元の行事、イベント等がけた行動、努力をしていきたいと思えます。

目的を定める貴重な三日間で、参加させていただいたことに感謝し、これからも機会を逃すことなく参加し、自分自身地域のために繋げていく姿勢を心がけて頑張っていきます。

# 平成二十一年 春の叙勲・褒章

平成二十一年春の叙勲・褒章受章者が四月二十九日に総務省から発令されました。本県からは、春の叙勲が十四名、危険業務従事者叙勲が十二名、藍綬褒章が一名、合計二十七名の皆様が受章の栄に浴されました。

## 春の叙勲

### 瑞宝小綬章

- 初澤 万男(七十) 消防歴 三十二年八月 下妻市在住
- 阿久津 進(七十二) 元 城里町七会消防団 団長 消防歴 四十七年一月

### 瑞宝双光章

- 荒井 助(六十六) 消防歴 三十五年 利根町在住
- 小倉 英司(七十二) 元 筑西市消防団 副団長 消防歴 五十年三月 筑西市在住
- 神長 四男(七十四) 元 大子町消防団 分団長 消防歴 三十八年八月 大子町在住
- 河西 誠(七十二) 元 美和村消防団 団長 消防歴 三十九年 消防歴 三十九年

### 瑞宝単光章

- 荒井 助(六十六) 消防歴 三十五年 利根町在住
- 小倉 英司(七十二) 元 筑西市消防団 副団長 消防歴 五十年三月 筑西市在住
- 神長 四男(七十四) 元 大子町消防団 分団長 消防歴 三十八年八月 大子町在住
- 河西 誠(七十二) 元 美和村消防団 団長 消防歴 三十九年 消防歴 三十九年

## 第十一回危険業務従事者叙勲

### 瑞宝双光章

- 小野 武(七十九) 元 水戸市 消防司令長 消防歴 三十六年六月 水戸市在住
- 木村 進(七十一) 元 高萩・十王 消防監 消防歴 三十三年 高萩市在住
- 飛田 信一(七十) 元 ひたちなか市 消防正監 消防歴 四十八年八月 土浦市在住

## 藍綬褒章

- 泉 孝友(六十三) 現 潮来市消防団 団長 消防歴 三十六年一月 潮来市在住



潮来市消防団 泉団長ご夫妻

## 編集後記

「茨城消防」の担当も二年目に入り、今年度第一号が順調に滑り出しました。昨年度は発行にあたり、周りの人に多大なるご支援を頂きました。改めて感謝申し上げます。梅雨の季節になりますが、体調を崩しがちになりますが、気合いを入れて頑張ります。いつものことながら、各地の消防に関する行事や珍事など、記事の提供をよろしくお願ひします。(な)



春の叙勲伝達式 (日消ホール)

- 荒井 助(六十六) 消防歴 三十五年 利根町在住
- 小倉 英司(七十二) 元 筑西市消防団 副団長 消防歴 五十年三月 筑西市在住
- 神長 四男(七十四) 元 大子町消防団 分団長 消防歴 三十八年八月 大子町在住
- 河西 誠(七十二) 元 美和村消防団 団長 消防歴 三十九年 消防歴 三十九年
- 常陸大宮市在住
- 君山 武(七十五) 元 千代田町消防団 団長 消防歴 四十一年八月 かずみかづら市在住
- 清水 薫(七十六) 元 東村消防団 団長

定期人事異動  
平成二十一年度の県定期人事異動に伴い、県消防関係幹部職員に異動がありましたので、お知らせします。  
※( )は前職

- 岡田 克幸 参事兼危機管理室長(原力安全対策課長)
- 山田 広次 消防防災課長(県立消防学校長)
- 遠藤 延男 県立消防学校長(障害福祉課副参事)
- 岩島 孝夫 消防防災課課長補佐(消防担当)(農政企画課長補佐)
- 飛田 剛利 危機管理監(産業立地推進東京本部長)